

件名 東武スカイツリー駅高架化工事 現場見学会

工事概要

本事業は、東武伊勢崎線の曳舟～とうきょうスカイツリー駅間を高架化することにより、桜橋通りとの平面交差踏切を除却し、慢性的な交通渋滞の解消、道路、鉄道の安全性の向上、および、市街地の分断を解消することによるまちの活性化を目的とした連続立体交差事業であり、合わせてとうきょうスカイツリー駅を約150m東側に移設、また本線に隣接する留置線も高架化する事業となっている。

特徴

一般的な高架化工事（仮線方式）ではなく活線直上方式を採用。通常の仮線方式を行う作業ヤードがないため、①仮橋脚を組立、②工事桁を架設し③既設高架橋を解体。その後④新しく高架橋を構築。これにより作業ヤードを最小限に抑え高架化が可能。また、狭隘な作業ヤードであることから3DCADを現場と本社で連携構築し、架線や周辺建物への安全対策、夜間測量の省人化に力を入れている。これにより実施工時がより確実なものとなっている。

見学先詳細

工事名 東武スカイツリー駅高架化工事

発注者 東武鉄道株式会社

施工者 東急・河本建設共同企業体

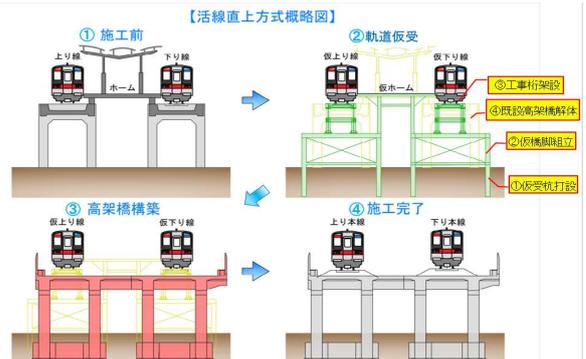
見学日 令和6年10月17日

参加者

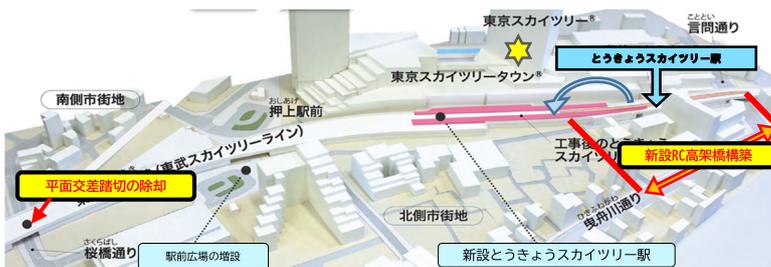
9名

【工事内容及び工事数量】

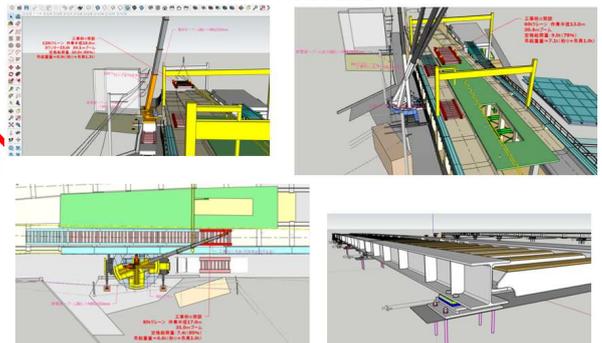
工 程	単 位	数 量
掘削工	m3	1979.1
基礎杭工	本	20.0
鋼矢板圧入工	m	75.5
基礎コンクリート	m3	275.0
柱コンクリート	m3	71.1
梁・床版コンクリート工（単版桁含む）	m3	391.3+29.7
型枠工	m2	1816.6
足場工	m2	1306.5
型枠支保工	m3	2485.3
鉄筋（杭）+（躯体）	t	173.1+167.1



【施工数量】



【施工概要図】



【施工箇所】

【3DCAD計画図】



【現場説明会開催状況】